

皆さんの声を 聴かせてください

旧上荻窪会議室等の跡地活用と周辺施設の検討

旧上荻窪会議室等跡地をどのように活用していくのかを中心に、周辺の西荻北保育園やゆうゆう西荻北館等の古くなった施設への対応も含めて、4月からワークショップを開催して地域の皆さん等と検討を重ねてきました。公共施設は様々な方が利用することから、ワークショップに参加していない皆さんからもご意見を伺うためにこのような場を設けました。

オープンハウスのプログラム

- パネル展示をご覧ください
検討対象となっている施設の概要やワークショップの取組内容をご覧ください。
- アンケートにご協力ください
パネル展示や区職員の説明等を踏まえてアンケートにご記入いただき、この取組に対するご意見をお聞かせください。
8月16日(金)〆切
※アンケートはWEBフォームからでもご回答いただけます。

この取組を詳しく知るには・・・

ワークショップ当日の配布資料のほか、区立施設マネジメント計画の内容などについて、区ホームページ(右二次元コード)に掲載していますので、ぜひご覧ください。

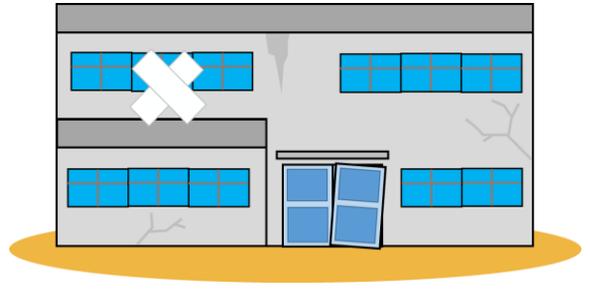


区立施設が抱える課題

①施設の老朽化

築50年以上の建物が区立施設全体で約3割を超えており、施設の老朽化が進んでいます。区立施設は今後まさに改築時期のピークを迎えます。

▶区立施設は区民共有の財産であるため、地域全体・区全体を俯瞰して今後のあり方を考える必要があります。



②区民ニーズの変化への対応

区立施設の多くが整備された高度経済成長期と現在では、大きく時代も変化しており、求められる施設や機能も変化しています。

▶現世代はもちろんのこと、将来世代のニーズや財政上の負担等も考慮する必要があります。



③限られた財源の中での施設整備

杉並区においても人口減少・少子化が見込まれます。それにより、働き世代が減少することで税収が減り、福祉や医療にかかるお金である社会保障関連経費が増加することが見込まれ、相対的に施設に使えるお金はこれまで以上に限られてきます。

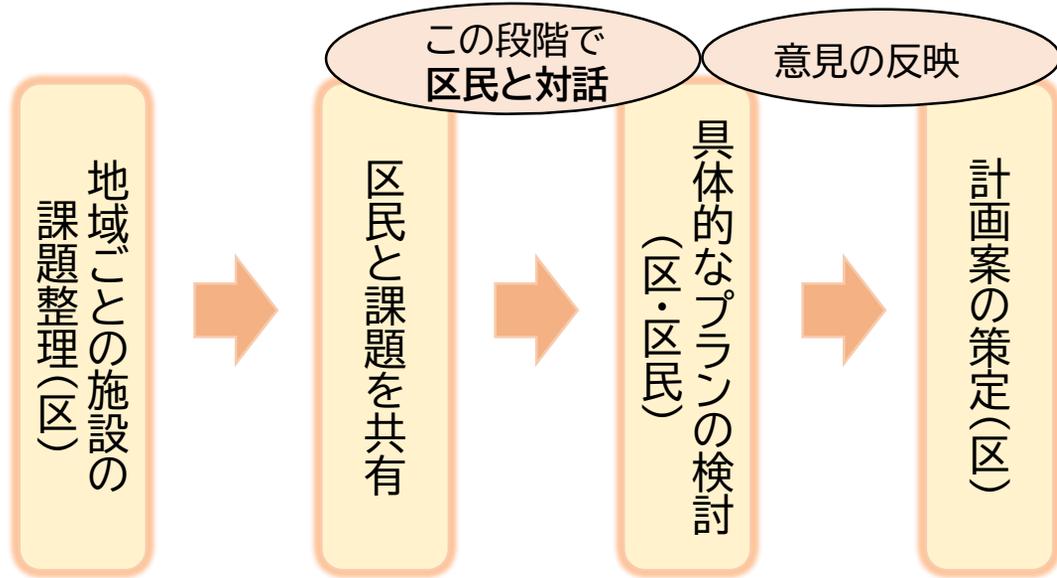
▶将来的な財政状況を踏まえて、限られた資源・財源を最大限に有効活用していく必要があります。



社会保障関連経費

区民参画による取組について

- 区では、区立施設の老朽化等の課題に対応するため、平成26年に「杉並区区立施設再編整備計画」を策定し、取組を進めてきました。
- 一方で、これまでの取組の進め方においては、施設利用者や地域の皆さんなどの意見を十分に反映できていなかったことが大きな課題でした。
- そこで、今後は計画の検討段階から施設利用者や地域の実情を一番理解している地域の皆さんの意見を聴きながら、共に計画案をつくり上げていくこととしました。



【スケジュール】

ワークショップのほか、チラシ等を活用した施設利用者や近隣住民からの意見聴取、オープンハウスの実施を通じて、地域の皆さんとの対話を行い、皆さんの意見を踏まえた上で最終的に区が計画案を決定します。その後、12月にパブリックコメントを実施し、令和7年1月に計画を策定する予定です。

- 区民の皆さんとの取組
 - ・ワークショップ
 - ・施設利用者や近隣住民からの意見聴取
 - ・オープンハウス（地域意見交換会）

6年4月以降

6年11月

6年12月

7年1月

7年4月以降

施設整備
プランの検討

計画案
決定

パブリック
コメント

計画策定

取組実施

検討対象施設の概要等

○施設の基礎情報

施設名	築年数	延床面積	備考
旧上荻窪会議室等	老朽化により 解体済	473.68㎡ (上荻窪会議室)201.72㎡ (ゆうゆう上荻窪館)182.35㎡ (ケア24上荻)89.61㎡	解体前は、 上荻窪会議室 ゆうゆう上荻窪館 ケア24上荻が併設
ゆうゆう上荻窪館 (暫定移転先)	築57年	248.80㎡	旧上荻窪会議室等 の解体に伴い、 ゆうゆう上荻窪館、 ケア24上荻は杉並 会館に暫定移転
ケア24上荻 (暫定移転先)	築57年	75.6㎡	
西荻北保育園 ゆうゆう西荻北館	築51年	保育園:648.65㎡ ゆうゆう館:229.77㎡	併設施設

○施設に関する情報

施設種別	施設の概要
ゆうゆう館 (詳細は参考資料の P5～P11 をご覧ください)	<p>○60歳以上の区民の福祉増進を目的に高齢者の健康増進、介護予防、いきがい活動支援、社会参加支援等の場として設置しています。</p> <p>○利用方法 ①個人利用、②団体利用、③目的外利用(高齢者以外の利用)ができます。</p> <p>○協働事業 各ゆうゆう館が、「いきがい学び」、「ふれあい交流」、「健康づくり」などに関する講座・催しを実施しています。</p>
コミュニティふらっと (詳細は参考資料の P16～P24 をご覧ください)	<p>○乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設として整備しています。</p> <p>○誰でも予約なしで気軽に利用できるラウンジを設置するほか、多世代交流イベント(おまつり)、講座等を実施しています。</p> <p>○ゆうゆう館を利用している団体の活動場所を確保することができるよう、一部の部屋・時間帯に「高齢者団体優先枠」を設け、一般利用者に先駆けて申し込みができる仕組みを設けています(1団体あたり月に8枠までは使用料免除)。</p>
ケア24 (詳細は参考資料の P14～P15 をご覧ください)	<p>○介護や認知症のことなどについて、高齢者やそのご家族からの相談を受ける総合相談窓口です。</p> <p>○保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等の保健・福祉の専門職が相談対応しています。</p>

現在の施設配置と施設ごとの建替時に生じる主な課題



C ケア24上荻 ゆうゆう上荻窪館 (杉並会館内)

○ケア24上荻については、杉並会館での運営の継続、旧上荻窪会議室等跡地への移転、民間賃貸物件での運営などの選択肢があり、様々な視点で検討する必要があります。

B 西荻北保育園 ゆうゆう西荻北館

○老朽化が進んでおり、保育園の仮設用地や高齢者の活動場所を適切に確保しつつ、速やかに建て替えていく必要があります。

○西荻北保育園を改築する場合、バリアフリーに配慮した設備や、障害児保育のための諸室等を整備をする必要があります、現在よりも延床面積が増加します。
(現在)648.65㎡

↓
(更新後)約1,000㎡

○ゆうゆう西荻北館は、現在と同規模の面積を確保することが難しくなるため、高齢者の活動機会を確保する観点から検討する必要があります。

A 旧上荻窪会議室等跡地

○令和4年12月をもって、旧上荻窪会議室は廃止し、「ゆうゆう上荻窪館」「ケア24上荻」は、杉並会館に暫定移転しました。

○建物は老朽化が進んでいたことから解体しました。

○高齢者の活動場所の確保等の観点を踏まえつつ、集会機能を有する施設の整備を視野に取組案を検討することとしています。

ワークショップでは、第2回までに取組案(プラン)の検討に向けて必要な情報の共有(土台作り)を行い、第3回から具体的なプランの検討を行いました。

施設を更新する上で重要となるポイント

高齢者の居場所確保の重要性

- 区の高齢者人口は今後上昇することが見込まれます。
- 多くの元気な高齢者が豊富な知識と経験を生かし、いきいきと活躍する社会に向けて、高齢者の社会参加の支援と環境整備の充実を図る必要があります。
- 区では、ゆうゆう館やコミュニティふらっとを整備し、高齢者のいきがい活動を支援しています。

保育環境の確保の重要性

【区立保育園が担うべき役割】

- この間、保育施設が充実した一方で、急増した私立保育園の保育の質の維持・向上のため、区立保育園が中心となって私立保育園との連携・研修等の支援に取り組むなど、区立保育園の担う役割は重要性を増しています。
- 増加傾向にある障害児や医療的ケア児の受け入れ先としての役割を担っています。
- 少子化が進む一方で共働き世帯が増加しており、保育需要は増加傾向の鈍化に留まっています。（対象地域の保育定員に対する充足率は90%以上）
- 将来的には保育需要の縮小により、私立保育園が閉園になる可能性もあることから、区立保育園において受け入れ先を確保しておく必要があります。

- ・当面の間、民営化や廃止を行わず、区立園(27園)を維持する方針です。
- ・対象地域の保育需要等を踏まえると、保育園の定員は維持していく必要があります。

保育園の改築にともなう延床面積の増加

- バリアフリー法関連諸室(エレベーター等)、障害児保育のための諸室、職員用諸室を確保するために、改築前より延床面積が増加します。

西荻北保育園を現在の敷地で改築する場合、併設するゆうゆう西荻北館を現在と同規模の面積で確保することは困難です。

ワークショッププラン作成に当たっての基本的な考え方

施設	考え方
<p>ゆうゆう 上荻窪館</p>	<p>○高齢者の活動場所が移転するものの、集会施設(コミュニティふらっと又はゆうゆう館を想定)を対象地域内に確保し、休止期間無く活動が継続できるようにしています。</p> <p>○整備する集会施設が小規模(300㎡未満)の場合は、現行のゆうゆう館と規模が同等のため、ゆうゆう館とすることを想定し、ラウンジや多目的室等を整備できる規模(600㎡程度)の場合は、多世代型のコミュニティふらっととすることを想定しています。</p> <p>○新たな施設の開設は令和10年度を予定しています。</p>
<p>ケア24 上荻</p>	<p>○現在の場所(杉並会館)から移転する場合、同程度の面積(約80㎡)を確保することとしています。</p>
<p>西荻北 保育園</p>	<p>○仮設園舎への移転は、現在の在園児の卒園後(令和12年度)を想定しています。</p> <p>○仮設園舎は西荻南区民集会所(旧西荻北児童館)を想定しています。</p> <p>○改築する場合、バリアフリーに配慮した設備や、障害児保育のための諸室等を整備をする必要があり、現在よりも延床面積が増加します。 (現在)648.65㎡ ➡ (更新後)約1,000㎡</p>
<p>ゆうゆう 西荻北館</p>	<p>○保育園の面積の増加に伴い、現在と同規模の面積を確保することは困難です。 (現在)229.77㎡ ➡ (更新後)約200㎡</p> <p>○プランによっては、西荻北保育園に集会施設を併設していますが、現行のゆうゆう館と同規模のため、ゆうゆう館とすることを想定しています。(⇒プラン①、③)</p> <p>○建物の改築は令和12年度以降を想定しています。</p>

※ワークショッププランについては調整中の部分を含んでおり、今後の検討によっては内容に変更が生じる場合があります。

参加者の意見に基づいたプラン作成

〔プラン作成の視点〕

これまでのワークショップで皆さんからいただいた意見を基に、以下のプラン(ワークショッププラン)を作成しました。

ワークショッププラン①：集会機能の充実を重視したプラン

概要	○旧上荻窪会議室等跡地に集会施設(コミュニティふらっとを想定)を整備 ○西荻北保育園は現地改築。ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園に集会施設(2部屋程度)を併設(ゆうゆう館を想定) ○ケア24上荻は杉並会館に存置			
施設の配置(更新後)	場所	旧上荻窪会議室等跡地	西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館	杉並会館
	整備する施設	集会施設(コミュニティふらっとを想定)	保育園+集会施設(ゆうゆう館を想定)の併設	ケア24

ワークショッププラン②：集会機能と相談環境の充実を重視したプラン

概要	○旧上荻窪会議室等跡地に集会施設(コミュニティふらっとを想定)を整備 ○西荻北保育園は現地改築。ケア24上荻を併設し、高齢者やその家族を支えるための相談スペース等を拡充			
施設の配置(更新後)	場所	旧上荻窪会議室等跡地	西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館	杉並会館
	整備する施設	集会施設(コミュニティふらっとを想定)	保育園+ケア24	—

ワークショッププラン③：高齢者向けサービスの充実を重視したプラン

概要	○旧上荻窪会議室等跡地にゆうゆう館(2部屋程度)、集会施設(2部屋程度)、ケア24上荻を整備 ○西荻北保育園は現地改築。ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園に集会施設(2部屋程度)を併設(ゆうゆう館を想定)			
施設の配置(更新後)	場所	旧上荻窪会議室等跡地	西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館	杉並会館
	整備する施設	ゆうゆう館+集会施設+ケア24	保育園+集会施設(ゆうゆう館を想定)の併設	—

参考：区立施設再編整備計画で計画化していたプラン

概要	○旧上荻窪会議室等跡地にコミュニティふらっとを整備(ゆうゆう上荻窪館・西荻北館を機能継承) ○西荻北保育園は現地改築(単独)。ケア24上荻は杉並会館に存置			
施設の配置(更新後)	場所	旧上荻窪会議室等跡地	西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館	杉並会館
	整備する施設	コミュニティふらっと	保育園(単独)	ケア24

ワークショッププラン①

集会機能の充実を重視したプラン

<p>プランのイメージ (更新後)</p>	<p>杉並会館 ケア24上荻</p> <p>西荻北保育園+ 集会施設(ゆうゆう館を 想定)の併設</p> <p>集会施設 (コミュニティふらっと を想定)</p>	<p>(参考としたワークショップ参加者の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多世代が使える施設が欲しい。特に高齢者、幼児が使えるラウンジ的なスペースの充実。 ○高齢者優先枠があっても、他の人もちゃんと利用できるということであればコミュニティふらっとでもいい。 ○会議等で施設を使いたいが、施設数が少なくなかなか取れない。子どもにとっても大人にとっても公共のスペースが少ない。 ○西荻北保育園の場所に、保育園+ミニ集会所はどうか。活動場所がなくなってしまう方のことも考えなくてはいい。 ○ケア24はそのまま杉並会館でもよいのではないかと(新しい施設を最大限活用できるために)。 ○杉並会館からゆうゆう館が出たら、ケア24は相談室等を充実できるのでは。
<p>プランの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地には集会施設(コミュニティふらっとを想定)を整備。ゆうゆう上荻窪館及び西荻北館の利用者、旧上荻窪会議室の利用者等を受入れ。集会室は5~6部屋程度確保できるとともに、多目的室(80㎡程度)やラウンジ(70㎡程度)も設置可能。 ○西荻北保育園は現地改築(認可基準を満たすよう整備)。改築は現在の在園児の卒園後を想定。ゆうゆう西荻北館は現在と同規模の面積を確保することが難しいが、ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園に集会施設(2部屋程度)を併設(ゆうゆう館を想定)。 ○ケア24上荻は杉並会館で運営を継続。 	
<p>ポイント ○:メリット ●:懸念点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集会施設(コミュニティふらっとを想定)でゆうゆう館利用者等の受入れに必要な部屋数を確保することができる(活動で使用する面積等により、活動日や時間の調整が必要となる可能性がある)。 ○西荻北保育園に集会施設(ゆうゆう館を想定)を併設することで、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を一定程度確保できる(活動日や時間の調整は必要)。 ●一部のゆうゆう西荻北館利用者については、西荻北保育園に併設する集会施設(ゆうゆう館を想定)の部屋数の減少により、活動回数や活動日、活動場所の調整が必要となる可能性がある。 ●保育園には1階への設置が望ましい諸室(歳児室や調理室等)があるため、集会施設(ゆうゆう館を想定)は2階または地下1階となり、それぞれにエレベーター等の設置が必要になる。なお、集会施設を2階に整備する場合、地上だけでは園庭を確保できないため、屋上園庭を設置し、園庭面積を確保する必要がある(地下に整備する場合は、地上だけで園庭面積を確保できる)。 ●将来的に杉並会館を建て替えるなど更新する際には、ケア24の移転先を確保する必要がある。 <p>【西荻北保育園に併設する集会施設について(現在の延床面積)229.77㎡ → (更新後)約200㎡】 現在 : 3部屋 (洋室1)62.1㎡ (洋室2)23.8㎡ (洋室3)33.2㎡ ※洋室1・2は一体使用が可能(85.9㎡) 更新後 : 2部屋 (集会室1)40㎡程度 (集会室2)25㎡程度 ※一体使用が可能になるよう設置(65㎡程度)</p>	
<p>(参考) コスト試算</p>	<p>【設計・建設費】 ※保育園を単独で改築した場合と比べて集会施設(ゆうゆう館を想定)を併設(約200㎡増)した場合にどの程度の影響があるか試算</p> <p>(設計費) 約760万円増 (建築費) 約1億3,000万円増 (合計) 約1億4,000万円増</p> <p>【エレベーター設置費】</p> <p>(設置費) 約1,200万円 ※別の集会施設に設置した際の金額。エレベーターは約30年程度で更新が必要。 (ランニングコスト(管理費)) 約100万円/年(保守内容による) ※60年で約8,400万円の増</p>	

プラン① ワークショップでの主な意見

◀ プラン①に対する主な意見



C 杉並会館用地に関する意見

○ケア24については、ゆうゆう館移転後のスペースを有効活用できることなどから、杉並会館内に存置すべきとの意見が多く出されましたが、杉並会館の建替え時に移転先を検討するのであれば、存置するのはその場しのぎではないかといった意見や、集会施設との併設によるメリットがあるとの意見もありました。

B 西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地について

○西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地については、現在のゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を現地で確保するために、集会室2部屋を整備した方がよいという意見もありましたが、保育園を単独で整備し、保育施設として十分な面積を確保すべきとの意見もありました。

また、エレベーターの設置などによるコスト増を懸念して、保育園と集会施設の併設に反対する意見もありました。

A 旧上荻窪会議室等跡地に関する意見

○旧上荻窪会議室等跡地に整備する集会施設については多世代で利用できる施設を求める意見が多く出されましたが、高齢者優先枠を設けるなど、高齢者への配慮を求める意見がありました。

ワークショッププラン②

集会機能と相談環境の充実を重視したプラン

<p>プランのイメージ (更新後)</p>		<p>(参考としたワークショップ参加者の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケア24を西荻北保育園と併設したらよいのではないかと。 ○西荻北保育園の改築時にケア24もそこに入れて欲しい。 ○ケア24は個人情報保護の観点から、不特定多数の利用者がいる施設にふさわしくないのでは。
<p>プランの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地には集会施設(コミュニティふらっとを想定)を整備。ゆうゆう上荻窪館及び西荻北館の利用者、旧上荻窪会議室の利用者等を受入れ。集会室は5～6部屋程度確保できるとともに、多目的室(80㎡程度)やラウンジ(70㎡程度)も設置可能。 ○西荻北保育園は現地改築(認可基準を満たすよう整備)。改築は現在の在園児の卒園後を想定。ケア24上荻を併設。 	
<p>ポイント ○:メリット ●:懸念点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集会施設(コミュニティふらっとを想定)でゆうゆう館利用者等の受入れに必要な部屋数を確保することができる(活動で使用する面積等により、活動日や時間の調整が必要となる可能性がある)。 ○保育園とケア24の併設により、ダブルケアラー(子育てと親や親族の介護を同時期に行う人)が相談しやすい環境の整備が期待できる(保育園の送迎と合わせて親の介護相談ができるなど)。 ●ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所が移転する(現在の場所に活動できるスペースがなくなるため)。 ●保育園には1階への設置が望ましい諸室(歳児室や調理室等)があるため、ケア24は2階または地下1階となり、それぞれにエレベーター等の設置が必要になる。 なお、ケア24を2階に整備する場合、地上だけでは園庭を確保できない可能性があり、その場合、屋上園庭を設置し、園庭面積を確保する必要がある(地下に整備する場合は、地上だけで園庭面積を確保できる)。 	
<p>(参考)コスト試算</p>	<p>【設計・建設費】 ※保育園を単独で改築した場合と比べて、ケア24を併設(約80㎡増)した場合にどの程度の影響があるか試算 (設計費) 約300万円増 (建築費) 約5,100万円増 (合計)約5,400万円増</p> <p>【エレベーター設置費】 (設置費) 約1,200万円 ※別の集会施設に設置した際の金額。エレベーターは約30年程度で更新が必要。 (ランニングコスト(管理費)) 約100万円/年(保守内容による) ※60年で約8,400万円の増</p>	

プラン② ワークショップでの主な意見

◀ プラン②に対する主な意見



B 西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地について

○保育園とケア24の併設については、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を確保できなくなるなどの理由から、併設に反対する意見が多くありました。

また、エレベーターの設置などによるコスト増を懸念して、保育園とケア24の併設に反対する意見もありました。

A 旧上荻窪会議室等跡地に関する意見

○旧上荻窪会議室等跡地に整備する集会施設については、多世代で利用できる施設を求める意見が多く出されましたが、高齢者優先枠を設けるなど、高齢者への配慮を求める意見がありました。

ワークショッププラン③

高齢者向けサービスの充実を重視したプラン

<p>プランのイメージ(更新後)</p>		<p>(参考としたワークショップ参加者の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケア24とゆうゆう館が同じ場所の方が馴染みやすい。 ○旧上荻窪会議室等跡地にケア24を戻した方がいい。高齢者は増えていく。大切にしたい。 ○コミュニティふらっとは同じスペースで使用対象が多世代になるので安全面からも反対。高齢者の使用に配慮した施設にしよう。
<p>プランの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地にゆうゆう館(2部屋程度)、集会施設(2部屋程度)、ケア24上荻を整備。 ○西荻北保育園は現地改築(認可基準を満たすよう整備)。改築は現在の在園児の卒園後を想定。ゆうゆう西荻北館は現在と同規模の面積を確保することが難しいがゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園に集会施設(2部屋程度)を併設(ゆうゆう館を想定)。 	
<p>ポイント ○:メリット ●:懸念点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○西荻北保育園に集会施設(ゆうゆう館を想定)を併設することで、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を一定程度確保できる(活動日や時間の調整は必要)。 ○ゆうゆう館とケア24上荻を併設することで、高齢者向けサービスの充実が期待できる。 ●一部のゆうゆう西荻北館利用者については、西荻北保育園に併設する集会施設(ゆうゆう館を想定)の部屋数の減少により、活動回数や活動日、活動場所の調整が必要となる可能性がある。 ●西荻北保育園及びゆうゆう西荻北館の改築期間中は集会室が不足するため、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所の確保が困難となる。 ●保育園には1階への設置が望ましい諸室(歳児室や調理室等)があるため、集会施設(ゆうゆう館を想定)は2階または地下1階となり、それぞれにエレベーター等の設置が必要になる。なお、集会施設を2階に整備する場合、地上だけでは園庭を確保できないため、屋上園庭を設置し、園庭面積を確保する必要がある(地下に整備する場合は、地上だけで園庭面積を確保できる)。 <p>【西荻北保育園に併設する集会施設について(現在の延床面積)229.77㎡ ➡ (更新後)約200㎡】 現在 : 3部屋 (洋室1)62.1㎡ (洋室2)23.8㎡ (洋室3)33.2㎡ ※洋室1・2は一体使用が可能(85.9㎡) 更新後 : 2部屋 (集会室1)40㎡程度 (集会室2)25㎡程度 ※一体使用が可能になるよう設置(65㎡程度)</p>	
<p>(参考)コスト試算</p>	<p>【設計・建設費】 ※保育園を単独で改築した場合と比べて集会施設(ゆうゆう館を想定)を併設(約200㎡増)した場合にどの程度の影響があるか試算 (設計費)約760万円増 (建築費)約1億3,000万円増 (合計)約1億4,000万円増</p> <p>【エレベーター設置費】 (設置費)約1,200万円 ※別の集会施設に設置した際の金額。エレベーターは約30年程度で更新が必要。 (ランニングコスト(管理費))約100万円/年(保守内容による) ※60年で約8,400万円の増</p>	

プラン③ ワークショップでの主な意見

◀ プラン③に対する主な意見



B 西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地について

○西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地については、現在のゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を現地で確保するために、集会室2部屋を整備した方がよいという意見もありましたが、保育園を単独で整備し、保育施設として十分な面積を確保するべきとの意見もありました。

また、エレベーターの設置などによるコスト増を懸念して、保育園と集会施設の併設に反対する意見もありました。

A 旧上荻窪会議室等跡地に関する意見

○ゆうゆう館とケア24の併設については、集会施設の面積が減ってしまうなどの理由から反対する意見が多く出されましたが、高齢者が相談しやすくなるなどの理由から賛成する意見もありました。

参考：区立施設再編整備計画で計画化していたプラン

<p>プランのイメージ (更新後)</p>	<p>杉並会館 ケア24上荻</p> <p>西荻北保育園(単独)</p> <p>コミュニティふらっと</p>
<p>プランの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地にコミュニティふらっとを整備。 ゆうゆう上荻窪館、ゆうゆう西荻北館をコミュニティふらっとに機能継承。 ○西荻北保育園は現地改築(単独)。 ○ケア24上荻は杉並会館で運営を継続。
<p>ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティふらっとでゆうゆう館利用者等の受入れに必要な部屋数を確保することができる(活動で使用する面積等により、活動日や時間の調整が必要となる可能性がある)。 ・保育園は単独改築となるため、地上のみで園庭面積を確保できる。 ・ゆうゆう西荻北館はコミュニティふらっとに機能継承するため、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所が移転する。
<p>補足</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうゆう館の機能継承や地域コミュニティ施設の整備等について、これまでの取組を検証することになったことから、このプランは一旦休止とした。 ・プランは一旦休止したが、旧上荻窪会議室等の建物は老朽化が進んでいたことから、建物の解体のみ行うこととした。